



2021年 11月2日 火曜日
(令和3年)

唯一無二の大学目指す

ものづくり大20周年式典

ものづくり大学は1日、行田市で開学20周年記念式典を開いた。式典で赤松明学長が「教育改革を實踐し、必要とされる唯一無二の大学になる」などとするものづく

り大学の2030将来ビジョンを発表した。式典には来賓として大野元裕県知事、石井直彦行田市長らが出席し祝辞を述べた。赤松学長は将来ビジョンと



式典で2030将来ビジョンを発表する赤松明学長。1日、行田市前谷のものづくり大学

して、教育改革実践のほか、研究成果の循環、運営組織の強化、地域連携の加速の計4点を推進していくと強調した。教育改革を實踐すること

で学修者が主体的に学び自律する人材を育成する。

式典終了後、日本総合研究所会長で同大学理事を務める寺島実郎氏が「ポストコロナ時代の日本の針路―ものづくりという基軸」と題して講演。約300人が聴講した。

ものづくり大学は2001年4月、行田市に開学。総合機械学科と建設学科を持ち、理論に技術・技能を併せ持つ人材を育成し、開学以来約4千人を社会に輩出している。